

採れたて!!

わかごぼう

No.86

発行 2021年5月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-1-201
TEL:072-999-7900

たまには童心にかえってみよう

『前号のあらすじ』
わかごぼうで絵画教室を開きました。講師のレクチャーをうけると、どこまで変化するのでしょうか?。

レクチャーを受ける前、僕は塗るようにリングを描いていたのですが、デッサンは線で描くものだと知りました。

鉛筆の濃さだけでなく、線の量や線の向き、時にはカーブなども混ざりました。塗るのではなく、描く線を活かして、立体を描いていくと、表現に驚きつつ、実践すべく鉛筆を取りました。

鉛筆が紙の上をすべる音しかしない静かな時間のなか、途中デッサンに行き詰った際、講師の方に質問をすると、ホワイトボードに図を描いて、リングをいくつかの面に分けて捉えてみる方法や、タッチの入れ方なども教えてもらいました。そうした知識も踏まえつつ、一時間ほど集中して描きました。

一時間の制限マークが鳴った瞬間、まだまだ描き足りない気持ちもありましたがそれを押さえ、切り上げて一度目の絵と比べてみました。ほんの少し技術を学んだだけで、よく見なくても違いは一目瞭然でした。

レクチャー後



レクチャー前



こうも変わるのがビックリで、絵に興味を持つきっかけに凄く良かったです。こうして教わるのも楽しかったです。

○やつてみて

・リングのおおよその形を描くのが精いっぱい、やつと形を描けたと思って次に進もうとして、リングを見ていてもどう描いていいか分からず、鉛筆を動かせなかつたのですが、じっくりもう一度観察して線を入れていきました。

・デッサンは全く経験がなかったので、描く上で面を意識して描くという感覚も初めてで、そういう意識を教わり実際してみると前よりも多少見栄えが良くなつたと思えました。ですが、一日を通して感じたことは、デッサンは自分に向いていない分野だなというのです。僕は、目に見える物を確実に処理していく方法を教わりながら、なんとか描き終えました。リングの描き方が分からなくて、手が止まってしまい、手際良く出来ないと感じました。

・ここまで一度に線を入れたらいいのか分からなくて、講師に描き方を教わりながら、なんとか描きました。

・びっくりしたのは、鉛筆の種類の多さとカッターナイフを使って削るという事です。何も教わらずに、リングを見ながら自分なりに描きましたが、全く立体感を表現することが出来ませんでした。その後、リングらしくなつて描くことが出来て良かったです。線を横向きに

失敗できません。そこからたくさんのこと学到べるから。

わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけたい。
でもいきなりは不安。お話できなくて一緒に過ごしてみよう。

八尾市社会的居場所事業
わかごぼうに

来ませんか?



☆参加対象になる方

- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい

家族以外の人との関わりが薄い方

※また、その方のご家族・親族の方も

ご相談いただけます。

(込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいのかわからない。
そんなあなたに応えるための社会的居場所です。



開催時間：毎週木曜日 14:00-16:00

開催場所：わかごぼう

八尾市南本町7-6-23

※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ&参加申込み

電話：072-992-6921

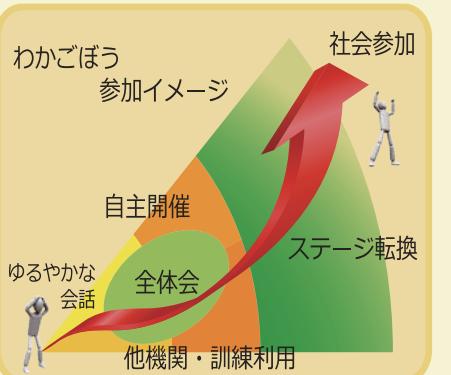
E-mail : wakagobou@yaops.jp

電話受付時間：9:00-17:00 (祝日除く月～金)

成功の力半ば水分。この難関どう越えよう

八尾市社会的居場所事業 「わかごぼう」について

スマールステップを積み重ねて自己を認容し元気を回復した後、自身が望む社会参加を実現する拠点になる事業です。



わからぼうの煙で収穫した大根をスイーツにすることになりました。作り方は簡単で、角切りした大根に砂糖とつな粉を混ぜたものを振り合わせるだけです。ファストフード店で売っているポテトと調味料をふり合わせる商品のようですね。レシピではボールの中できな粉と大根を混ぜ合わせていましたが、粉が散つては大惨事なので、ジップロックの中で混ぜることにしました。

僕が大根を切っている時、包丁の使い方が危なつかしいようで、他の参加者の方に包丁の持ち方やもう片方の手の置き方をレクチャーしてもらいました。ゆっくりと切っていくよう気をつけました。切った大根をあらかじめ混ぜ合わせておいたつな粉と振るように混ぜ合わせると、ここでハプニングが起きました。本来なら大根の周りをつな粉がコートイングしてくれるはずが、大根から出る水分でつな粉が

液状化してしまいました。とりあえず、お皿に移して食べてみると…端的に言つてしまふと美味しい…。きな粉の味がしないでいるのも大根でした。一度目の牛敗を踏まえて再度チャレンジです。今度は徹底的に水分をふき取ることにしました。切った太根をキッチンペーパーで何度もふき取つてから同様にきな粉を振り合わせると少しましになりましたが、やっぱり水分が多いようです。今度するチャンスがあれば、水分をどう抜くかがポイントになるなど感じました。



初めは子どもたちと同様に、けん玉の持ち方や基本の姿勢などを教わりました。コツがなかなか掴めず玉が跳ねたり、皿の端に玉が弾かれたりして名人のように上手くいきませんでしたが、名人にコツを教わって実践していくうちに、玉が吸い込まれるように皿に垂りました。その時は嬉しくてついはしゃいでしまいました。そうしてけん玉の楽しさも少し経験したところで、午後の部の時間が迫ってきました。《次号に続く》

午前中、一息つく間もなく動き続けたので、参加メンバーは皆へとへとなつてしましました。それでもお昼ご飯を食べて体力が回復したのか、一人のメンバーがけん玉名人にけん玉を教わりに行きました。私は、午後の部まで時間がちょっととあったので、勇気をもって名前二三句をつりこ行きました。

当日、朝の八時半に集合し役割分担を決めます。ボランティアとして参加したイベントは「スポーツけん玉」というもので、けん玉名人が子供たちにけん玉を教えるお手伝いをします。割り振られた役割は、スタンプを押す係、子どもたちを列に並ばせる誘導係二名、子供たちが使用したけん玉の消毒係です。

以前から親交のある八尾市生涯学習センターががやきの方から「今度大きいイベントをするのですがボランティアとして参加されませんか?」と聞かれただけで、八尾市総合体育館ウイングで行われたスポーツ体験イベント「八尾キメラ」にボランティアとして参 加してきました。

さばけ怒涛の子供の波！

これからのかわいごぼう

五月六日再開予定だったわかごぼうですが、残念ながら大阪府の新型コロナウイルス感染者が減らず、緊急事態宣言の五月末までの延長が決定しました。それに伴いわかごぼうも休止期間の延長を決定しました。次回開催は六月以降を予定しています。二度目の延長が無ければいいのですが。

みんな似ている。ひとりはよくない。つながる力を身に着けよう。八尾市社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。

春の陽気の中準備を

だんだんと春めいた陽気になつてきましたね。しばらくお休みをしていたわがごぼうの農園も、作物を植える時期になりました。

今季の作物は、パブリカ、「ぼうとうがらし」です。植える下準備として、雑草処理、天地返し、畝たての三つの作業を行いました。まずは、雑草を取り除く作業からです。寒い冬を越えた元氣な雑草を引っこ抜きます。根っこが頑固で引っこ抜いていくうちに、握力がどんどんなくなっています。

なんとか、堪えて雑草の処理を終えると、次は天地返しです。これをしないと収穫を終えた後の畠は表面の栄養素がなくなりサラサラの状態になつていて作物にとつて良い環境とはいえません。なので雑草処理で弱った握力がやや不安ではありますが、スクワットを手に土を掘り返しては埋めるの繰り返しをしました。慣れないせいもあってか、この繰り返しが体力的に非常に大変でした。もう体力が尽きかけそうなどころで最後に、畝づくりです。表面を均し、水はけをよくするため台形になるように形を整えてきました。これで、種を植える準備は完成です。

さて、お待ちかねの種植えです。種植え当日は気温も高く汗をじしませながらの作業になりました。僕は細かい作業が苦手なのですが、一つ一つ丁寧に株間を調整しながら種が芽吹いてくれるよう、植えていく作業は苦労しました。